

## ゼータの香りの漂う式(その7) [テイラーシステム]

今回テイラーシステムを用いて、新たな「ゼータの香りの漂う式」を導きだすことができたので紹介したい。次の2式である。

$$e^{(1/4)/1^2} + e^{(1/8)/2^2} + e^{(1/12)/3^2} + e^{(1/16)/4^2} + \dots \\ = \zeta(2) + (1/4)^1 \cdot \zeta(3)/1! + (1/4)^2 \cdot \zeta(4)/2! + (1/4)^3 \cdot \zeta(5)/3! + (1/4)^4 \cdot \zeta(6)/4! + \dots$$

$$e^{(-1/4)/1^2} + e^{(-1/8)/2^2} + e^{(-1/12)/3^2} + e^{(-1/16)/4^2} + \dots \\ = \zeta(2) - (1/4)^1 \cdot \zeta(3)/1! + (1/4)^2 \cdot \zeta(4)/2! - (1/4)^3 \cdot \zeta(5)/3! + (1/4)^4 \cdot \zeta(6)/4! - \dots$$

e は自然対数の底(ネイピア数)である。

これらの左辺を見ると、 $\zeta(2)$ の香りが漂っていることがわかる。

$\zeta(s)$ や  $L(\chi, s)$ など様々なゼータの特殊値を求める際に威力を発揮したテイラーシステムを用いると、いとも簡単にこれらの式を導くことができる。それを以下で示す。

---

### < $\sum e^{(\pm 1/4n)/n^2}$ の導出 >

$$e^{(1/4)/1^2} + e^{(1/8)/2^2} + e^{(1/12)/3^2} + e^{(1/16)/4^2} + \dots \\ = \zeta(2) + (1/4)^1 \cdot \zeta(3)/1! + (1/4)^2 \cdot \zeta(4)/2! + (1/4)^3 \cdot \zeta(5)/3! + (1/4)^4 \cdot \zeta(6)/4! + \dots$$

$$e^{(-1/4)/1^2} + e^{(-1/8)/2^2} + e^{(-1/12)/3^2} + e^{(-1/16)/4^2} + \dots \\ = \zeta(2) - (1/4)^1 \cdot \zeta(3)/1! + (1/4)^2 \cdot \zeta(4)/2! - (1/4)^3 \cdot \zeta(5)/3! + (1/4)^4 \cdot \zeta(6)/4! - \dots$$

これらの式を導出する。

#### [導出]

$$f(x) = e^{(x/1)/1^2} + e^{(x/2)/2^2} + e^{(x/3)/3^2} + e^{(x/4)/4^2} + \dots$$

という関数  $f(x)$  を考える。ここで  $x$  は任意の実数。

$f(x)$  の  $x$  に  $1/4$  を代入して、

$$f(1/4) = e^{(1/4)/1^2} + e^{(1/8)/2^2} + e^{(1/12)/3^2} + e^{(1/16)/4^2} + \dots \quad \text{-----①}$$

さて、 $f(x)$  を  $x=0$  周りでテイラー展開して、

$$f(x)=f(0) + f'(0)\cdot x/1! + f''(0)\cdot x^2/2! + f'''(0)\cdot x^3/3! + \dots \quad \text{----}\textcircled{2}$$

ここで①式を次々に微分して、

$$\begin{aligned} f(x) &= e^{(x/1)/1^2} + e^{(x/2)/2^2} + e^{(x/3)/3^2} + e^{(x/4)/4^2} + \dots \\ f'(x) &= e^{(x/1)/1^3} + e^{(x/2)/2^3} + e^{(x/3)/3^3} + e^{(x/4)/4^3} + \dots \\ f''(x) &= e^{(x/1)/1^4} + e^{(x/2)/2^4} + e^{(x/3)/3^4} + e^{(x/4)/4^4} + \dots \\ f'''(x) &= e^{(x/1)/1^5} + e^{(x/2)/2^5} + e^{(x/3)/3^5} + e^{(x/4)/4^5} + \dots \\ &\cdot \\ &\cdot \end{aligned}$$

これらの x に 0 を代入すると、次のようになる。

$$\begin{aligned} f(0) &= 1/1^2 + 1/2^2 + 1/3^2 + 1/4^2 + \dots = \zeta(2) \\ f'(0) &= 1/1^3 + 1/2^3 + 1/3^3 + 1/4^3 + \dots = \zeta(3) \\ f''(0) &= 1/1^4 + 1/2^4 + 1/3^4 + 1/4^4 + \dots = \zeta(4) \\ f'''(0) &= 1/1^5 + 1/2^5 + 1/3^5 + 1/4^5 + \dots = \zeta(5) \\ &\cdot \\ &\cdot \end{aligned}$$

これらを②式に代入すると次のようになる。

$$f(x) = \zeta(2) + \zeta(3)\cdot x/1! + \zeta(4)\cdot x^2/2! + \zeta(5)\cdot x^3/3! + \dots \quad \text{----}\textcircled{3}$$

上式の x に 1/4 を代入して次を得る。

$$f(1/4) = \zeta(2) + \zeta(3)\cdot(1/4)/1! + \zeta(4)\cdot(1/4)^2/2! + \zeta(5)\cdot(1/4)^3/3! + \dots \quad \text{----}\textcircled{4}$$

①と④より、次式が成り立つ。

$$\begin{aligned} &e^{(1/4)/1^2} + e^{(1/8)/2^2} + e^{(1/12)/3^2} + e^{(1/16)/4^2} + \dots \\ &= \zeta(2) + (1/4)^1 \cdot \zeta(3)/1! + (1/4)^2 \cdot \zeta(4)/2! + (1/4)^3 \cdot \zeta(5)/3! + (1/4)^4 \cdot \zeta(6)/4! + \dots \end{aligned}$$

まず1番目の目的の式が得られた。

また全く同様にして今度は上で x に -1/4 を代入し計算すると、2番目の目的の式が得られる。

$$\begin{aligned} &e^{(-1/4)/1^2} + e^{(-1/8)/2^2} + e^{(-1/12)/3^2} + e^{(-1/16)/4^2} + \dots \\ &= \zeta(2) - (1/4)^1 \cdot \zeta(3)/1! + (1/4)^2 \cdot \zeta(4)/2! - (1/4)^3 \cdot \zeta(5)/3! + (1/4)^4 \cdot \zeta(6)/4! - \dots \end{aligned}$$

**[終わり]**

$$\begin{aligned} &e^{(1/4)/1^2} + e^{(1/8)/2^2} + e^{(1/12)/3^2} + e^{(1/16)/4^2} + \dots \\ &= \zeta(2) + (1/4)^1 \cdot \zeta(3)/1! + (1/4)^2 \cdot \zeta(4)/2! + (1/4)^3 \cdot \zeta(5)/3! + (1/4)^4 \cdot \zeta(6)/4! + \dots \end{aligned}$$

$$e^{(-1/4)/1^2} + e^{(-1/8)/2^2} + e^{(-1/12)/3^2} + e^{(-1/16)/4^2} + \dots$$

$$= \zeta(2) - (1/4)^1 \cdot \zeta(3)/1! + (1/4)^2 \cdot \zeta(4)/2! - (1/4)^3 \cdot \zeta(5)/3! + (1/4)^4 \cdot \zeta(6)/4! - \dots$$

このような優雅な“ $\zeta(2)$ の香りが漂う式”が全く簡単に得られたことに驚かれるであろう。

上式は、前回までに見た

$$1/(1^2+a^2) + 1/(2^2+a^2) + 1/(3^2+a^2) + 1/(4^2+a^2) + \dots$$

$$= -1/(2a^2) + (\pi/(2a)) \cdot (e^{(2a\pi)+1}) / (e^{(2a\pi)}-1)$$

などとはまた違ったゼータの香りが漂っている。

今回用いた方法ではゼータの関数等式さえ必要ないのであった。以前、テイラーシステムを用いて奇数ゼータなどを求めた際には必ず途中で関数等式を用いたのであるが。

今回の導出のポイントとして、まず

$$f(x) = e^{(x/1)/1^2} + e^{(x/2)/2^2} + e^{(x/3)/3^2} + e^{(x/4)/4^2} + \dots$$

という形の式を用いたことが挙げられる。さらに  $x=0$  周りで展開したこともさらなる工夫である。

これらの工夫の上にテイラーシステムを用いたのであった。

$x$  に  $1/4$  を代入したのは数値的な検証をしやすく(収束を速く)するためである。別に  $x=1/2$  でも  $x=1/3$  でももちろんOKだが。

数値計算も行ったが、正しい式となっている。

例えば、2番目の式の左辺と右辺が一致することを Excel を使い数値計算で確認したので示しておく。

まず左辺を100万項まで計算すると、

$$\text{左辺} = 1.37569\dots$$

となる。

次に右辺を見ると、

$$\text{右辺の2項まで} = 1.34441\dots$$

$$\text{右辺の3項まで} = 1.37824\dots$$

$$\text{右辺の4項まで} = 1.37554\dots$$

$$\text{右辺の5項まで} = 1.37570\dots$$

と、たったの5項でほとんど一致してしまう。右辺の収束は異常に速いのである。まとめておこう。

$$f(x) = e^{x/1}/1^2 + e^{x/2}/2^2 + e^{x/3}/3^2 + e^{x/4}/4^2 + \dots$$

にテイラーシステムを適用。

**[0 周リテイラー, 1/4 代入]**

$$e^{(1/4)/1^2} + e^{(1/8)/2^2} + e^{(1/12)/3^2} + e^{(1/16)/4^2} + \dots$$

$$= \zeta(2) + (1/4)^1 \cdot \zeta(3)/1! + (1/4)^2 \cdot \zeta(4)/2! + (1/4)^3 \cdot \zeta(5)/3! + (1/4)^4 \cdot \zeta(6)/4! + \dots$$

**[0 周リテイラー, -1/4 代入]**

$$e^{(-1/4)/1^2} + e^{(-1/8)/2^2} + e^{(-1/12)/3^2} + e^{(-1/16)/4^2} + \dots$$

$$= \zeta(2) - (1/4)^1 \cdot \zeta(3)/1! + (1/4)^2 \cdot \zeta(4)/2! - (1/4)^3 \cdot \zeta(5)/3! + (1/4)^4 \cdot \zeta(6)/4! - \dots$$

(杉岡幹生)